

「丹沢ドン会」のあゆみ 略年譜

(1992年3月～2015年2月)

- 1991年11月 「ドンドンが怒った 森の動物たちの反乱」(岡進・作、西巻一彦・絵) 夢工房・刊
- 1992年03月 丹沢ドン会発足 (DON=Do for Nature=ドン)
- 11月 第1回丹沢シンポジウム「丹沢があぶない!」を秦野駅前なでしこ会館で開催(年1回開催～1997年、第6回まで)
- 1993年04月 鍋割山荘・草野延孝さんの呼びかけに応え第1回鍋割山稜登山道の補修ボランティア活動開始(4月、7月、年2回～現在)
- 1996年04月 松田輝雄さんの指導でタカの渡り観察会スタート(春・秋、年2回～現在)
- 08月 秦野市菩提・わさびや茶園で納涼流しそうめんの会開催(～2000年まで)
- 1997年08月 秦野市菩提・相原正幸さんの畑を借りそば作り(～1999年まで)
- 1998年06月 通信会費制(1家族年2000円)実施(～現在)、通信会報「ドンタン」(B5判)第1号発行(～2003年、36号まで)、「丹沢塾」開催(～2003年まで)
- 1999年12月 秦野市名古屋・関野丑松さんの畑を借りて小麦・そば作り(～2004年)
- 2000年06月 秦野市名古屋・大木仙造さんの棚田で東海大学人間環境学科・室田教室と共同で米づくり開始
- 11月 第1回収穫感謝祭開催(秦野市青少年野外センター、以後、名古屋・関野丑松宅、名古屋棚田・ゲンゴロウ広場で開催～現在)
- 2001年03月 NPO法人設立呼びかけ人総会開催(秦野駅前・リヨン)
- 07月 宿泊研修旅行実施(檜枝岐・武田久吉記念館と会津駒ヶ岳登山ツアー)
- 07月 丹沢ドン会HP立ち上げ
- 09月 「NPO法人自然塾丹沢ドン会」神奈川県より認証、新生ドン会スタート。初代理事長に岡進就任
- 11月 第7回丹沢シンポジウム「丹沢の先駆者・武田久吉博士と丹沢を語る」開催
- 2002年02月 秦野市名古屋共有林組合の里山で雑木林の管理作業開始(～現在)
- 03月 第1回丹沢山麓展開催(秦野駅前・なでしこ会館)
- 04月 名古屋自然観察会開催(県立地球博物館高桑正敏学芸部長の指導で～現在)
- 04月 「里山・里地グリーンサポーター<のら人>」募集
- 05月 秦野市名古屋・遠藤ユリ子さんの棚田・復元開墾作業開始(～03年3月)
- 06月 丹沢ドン会HPリニューアル
- 2003年03月 第2回丹沢山麓展開催(秦野市本町四ツ角商店街・空き店舗で～現在)
- 06月 名古屋の棚田復元し田植え実施
- 10月 「名古屋の自然 丹沢の雑木林・棚田の復権と生き物たち」(第8回丹沢シンポジウム)発刊
- 2003年11月 第16回「神奈川地域社会事業賞」(神奈川新聞社・同文化厚生事業団)、第18回「手づくり郷土賞」(地域活動部門)(国土交通省)ダブル受賞
- 11月 第1回わいわいはだの市場(第3回丹沢山麓展)開催
- 2004年01月 ドン会通信会報「ドンタン」リニューアルし(A4判)第37号発行(～現在)
- 02月 ドン会の「丹沢山麓の里山里地保全事業」が「平成16年度神奈川県ボランティア活動推進基金21」補助対象事業に選定される(3年続けて)
- 03月 「地域づくりキーワードBOOK 農山漁村活性化のための事例集」100事例の中の特集10事例の一つとして収録(総務省自治行政局地域振興課)
- 05月 「丹沢自然塾」塾生募集開始。伊勢原上粕屋・雨岳文庫(山口匡一さん)で茶摘みと手もみ茶作り(以後、自然塾の会場、そば畑として借りる)
- 06月 「丹沢自然塾」開講、第1回「田植え実習」実施(～6回まで)
- 06月 「日本の里地里山30 保全活動コンテスト」選定(2004年、環境省・読売新聞社)
- 07月 環境省の「里地里山保全再生モデル事業」全国で4か所の一つに「秦野市等」として指定される
- 07月 第2回山岳環境賞・B賞(「山と溪谷社」)受賞
- 12月 第1回団塊サミット(鎌倉・建長寺)に参加
- 2005年01月 「05年前期自然塾」(1～6)第1回(雑木林の管理教室)開催
- 02月 「平成17年度県ボランティア活動推進基金21」補助対象事業継続決定
- 03月 第10回丹沢シンポジウム「丹沢山麓里地・里山の元気づくり―地域再生と市民力・地域力」開催
- 04月 NHK「おはよう日本」で棚田の復元活動・中継(27日、NHK「みんなのメッセージ」放映・6月24日)。「みどりの日」自然環境功労者表彰 環境大臣表彰を受ける。名古屋の自然調査開始(2年間、東海大学人間環境学科自然環境課程と協働で)。セブンイレブン助成決定(自然調査報告書作成→2006年3月発刊)

- 06月 「05年後期自然塾」(1~6)第1回(田植え教室)開催
- 11月 第2回団塊サミット(岐阜県揖斐川町)に参加(研修会19名参加)
- 2006年02月 「丹沢自然塾」を改編(年12~13回のカリキュラム編成)、募集開始。都市と農村を結ぶシステムを編み出す。棚田の復元活動の活性化、「開墾教室」「田んぼの生き物観察会」スタート
- 05月 国際ソロプチミスト秦野(クラブ賞)受賞
- 05月 第11回丹沢シンポジウム開催
- 06月 NHKテレビBS2「おーい、ニッポン 私の好きな神奈川県」で復元棚田の田植えを全国生中継
- 12月 第3回「団塊サミット in 丹沢」を秦野市と協働で開催、全国のNPO団体との交流・ネットワークを結ぶ
- 2007年05月 第2代理事長に工藤誠幸就任、ドン会の運営をシステム化。事業を担当制に改変
- 05月 NHKテレビ「ふるさと一番!」に名古屋の棚田の復元活動を生中継
- 09月 「ドン会ニュース」リニューアルNo.1(通巻60号)発行
- 2007年、2008年 東京農業大学による名古屋の「棚田の米づくりと水生生物の研究」支援。学園祭で研究発表・展示したジオラマを譲り受け、秦野市立東小学校に寄贈。東海大学付属幼稚園による名古屋の棚田の自然観察会を支援。名古屋の竹林管理による竹で竹炭作り。乾燥剤、アート竹炭をお土産に(~2010年まで)。名古屋の荒廃農地(畑)を使って、そば作り、麦作りを開始。そば、麦とも種まきから収穫まで体験。さらに手打ちそば教室、パン作りなど、安全・安心の食べものづくりを会員・市民に広げる活動を開始
- 2009年02月 第6回「丹沢自然塾」塾生募集開始
- 05月 第3代理事長に小川次雄就任、自然塾に「木工教室」「竹細工教室」「草木染教室」などを加え、身近な自然に親しみ、活用する術を学ぶ
- 2010年4~5月 第61回全国植樹祭・市民植樹会に参加、羽根の管理地にヤマザクラ、イロハモミジ、コブシ、クスギなど180本植樹。以降、自然採取のドングリから苗の栽培→植樹を開始
- 2011年03月 東北大震災に際し、丹沢ドン会より日本赤十字社を通じて義援金10万円を送る
- 04月 秦野市と共催で「丹沢山ろく里地・里山学習会」を開催
- 併せて、東北大震災応援チャリティコンサート(フォルクローレ・木下尊惇さん)を開催。これ以前に集まった義援金+この時の義援金他合計122,832円を飯館村に送る
- 2012年02月 「ドン会ニュース」No.19(通巻78号)発行
- 02月 「丹沢ドン会20周年記念トーク&コンサート」を秦野市本町「昭和レトロ五十嵐商店」倉庫で開催、まちづくりを進める市民団体「市民がつくる秦野のまち・ハダノワ」と連携
- 03月 第9回「丹沢自然塾」塾生募集開始
- 04月 秦野市と共催で「丹沢山ろく里地・里山学習会」を開催
- 06月 名古屋・須山正一さんの棚田の復元作業開始(前年より、水生生物・植生の現状調査を東海大学自然環境課程北野・藤吉准教授のゼミで開始、復元前後の生き物・植生を調査・比較する)
- 2013年03月 名古屋の棚田の上の牛糞置き場を借り受け、菜の花、コスモス畑に
- 04月 横浜市青葉区亡川崎恵美子さんより、NPO法人日本生前契約等決済機構を通して、NPO法人自然塾丹沢ドン会に遺贈。「川崎基金」として、川崎さんの遺志に答える活用方法を検討開始
- 04月~08月の間、3回にわたり、協働による里地・里山の次世代継承に川崎基金を有効活用する方途について秦野市と協議、2014年1月には、秦野市、神奈川県とドン会の三者による協議開始
- 04月 秦野市と共催で「丹沢山ろく里地・里山学習会」を開催
- 05月 秦野市植樹祭(名古屋)に参加、秦野市里山保全再生連絡協議会との連携を進める
- 10月 秦野市と共催で「山ろくウォーキング+秦野文学講座」を開催
- 12月 「ドン会ニュース」No.26(通巻85号)発行
- 2014年02月 第11回「丹沢自然塾」募集開始
- 04月 秦野市と共催で「丹沢山ろく里地・里山学習会」を開催
- 09月 秦野市立末広児童館の児童による稲刈り体験教室を昨年引き続き開催
- 10月 秦野市と共催で「里山ウォーキング+秦野歴史講座」を開催。地元名古屋を歩く。地域の名人・研究者による地域の宝物、歴史・文化の解説してもらう。地域との交流・連携を深める
- 2015年02月 **「かながわ地球環境賞・地球環境保全活動部門」を黒岩神奈川県知事より受賞**
- 出版物(企画・編集) 「丹沢があぶない!」(1993年)、「丹沢の林道を考える」(1994年)、「丹沢の生きものたちの悲鳴」(1995年)、「丹沢アウトドアライフを考える」(1996年)(以上ブックレット) 「名古屋の自然—丹沢の雑木林・棚田の復権と生きものたち—」(2003年)(財団法人イオン環境財団の「環境保全活動に対する助成金」) 「丹沢山麓里山・田んぼ物語 伝統的景観復元と地域再生マニュアル」(2004年)(ドコモ市民活動団体助成金) 「名古屋の水生生物・哺乳類と野の花たち」(2006年)(セブンイレブン緑の基金の助成を受ける)